



明日の青梅のために！！

青梅市議会議員

島崎 実 活動報告

令和3年4月20日発行

島崎 実 事務所
〒198-0063
青梅市梅郷6-1511
TEL 0428-76-0358
E-Mail info@minoru-kai.com

「まん延防止等重点措置」が適用されるなど、新型コロナウイルスの感染は収まりません。しかし、ワクチン接種も開始されました。市内でも、5月以降65歳以上の高齢者から、接種が開始される予定となっております。引き続き、マスク・手洗い等感染防止の原則の徹底を図り、新型コロナに打ち勝ちましょう！

◎4月から、市内全域で梅樹を植えられるようになりました。平成22年から実施してきた国の緊急防除の結果、梅輪紋ウイルスの感染拡大が抑えられているため、今年3月末をもって国による事業は終了し、アブラムシ防除等は市の事業として3年程度継続します。「梅の里の再生」は、まだ道半ばであります。引き続き梅の里の再生に努力致します。



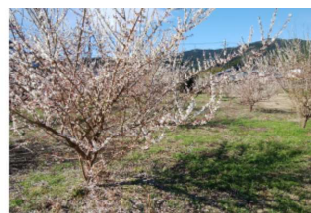
梅の公園



中道梅園



神代橋通り



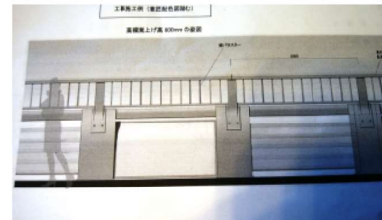
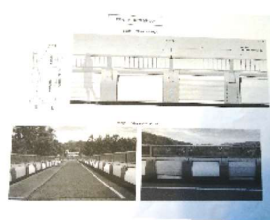
農地の状況



◎「奥多摩橋の欄干の嵩上げについて」

既に工事請負業者は決定し、契約は完了しています。嵩上げ部材の作製が8～9月まで、取付作業は1か月程度で、11月17日が工事完了予定日です。60cmの嵩上げで、高欄は171.6cmとなり、神代橋より1.6cm高くなる右がイメージ図です。

嵩上げ後のイメージ図



◎新型コロナウイルスワクチン接種に関する市の対応について・・・（今後変わる可能性もあります）接種については、当面集団接種で、総合体育館、福祉センター、市民センター体育館等で実施予定です。

(1) 接種までの流れは下記の通りとなります。

①市から接種券が送付されます。②接種券が送付されましたら、接種日時を予約します。予約方法は（インターネット環境のある方）は、市のホームページ（WEB）からの申し込み。（インターネット環境のない方）は、コールセンターからの申し込みとなります。いずれも4月26日以降の申し込み予定です。③接種当日は、事前に検温し、接種券と本人確認書を持って予約時間に合わせて会場に行き、接種となります。

(2) 接種の順番は、①65歳以上の方には、4月中旬以降接種券が発送され、5月から接種開始予定です。

②高齢者施設の入所者・施設の従事者への接種は、巡回接種の予定です。

(3) 接種会場や接種開始時期などについて案内チラシを作成し、4月中旬以降、全戸配布する予定です。

「2月定例議会（3月議会）報告」

1. 2月定例議会は、2月18日に市長施政方針演説。3月1～3日の常任委員会、4日に補正予算審議を行い、全員協議会を開催しました。8日～10日に一般質問を行い、15日～17日に令和3年度の当初予算を審議し、22日に市長提出議案を全て可決し終了しました。

2. 「令和3年度一般会計予算」（当初予算）について・・・前年比較は前年度当初予算との比較です。
- (1) 予算総額は517億円で、前年度比4億円（0.8%）の増加となります。
 - (2) 一般会計から、国保会計等他会計への繰出金は69億5百万円、前年比72百万円（1.1%）の増。
 - (3) モーターボート事業会計から、一般会計への繰出金は前年比4億円（43%）増の13億32百万円と計画しました。なお、令和2年度は総額26億31百万円の繰出しを行っています。内10億円はコロナウイルス対策として、市立総合病院へ繰出しました。
 - (4) 歳入、市税は前年比4億90百万円減の191億円となります。給与所得の減と、企業収益の減から、個人・法人市民税ともに減少となります。固定資産税も1億73百万円の減少を見込みます。なお、地方交付税は3億68百万円の増となります。
 - (5) 歳出、民生費は67百万円増の251億60百万円、歳出全体の48.6%を占めます。学校施設整備費の増で、教育費は3億27百万円の増、農林水産業費は2億29百万円の減となります。
3. 「全員協議会」・・・「令和3年度の組織改正について」、他、計6項目が提出されました。
マイナンバーカードの普及促進のため、市役所1階に「マイナンバーカード交付特設会場」を設置していきます。

4、「一般質問」

今回の一般質問では、①日本経済新聞社と日経DUALの「共働き子育てしやすい街ランキング2020」自治体アンケート調査で、青梅市が全国9位にランクされた事を取り上げ、更なる子育て施策の推進を求めました。また、②4月から市内全域で梅の植栽が可能となった「梅の里の再生について」質問しました。

「青梅市は全国9位」、共働き子育てしやすい街ランキング2020で！

(私の質問)	(市長答弁)
(1) アンケートでは、16項目の質問がありますが、実際にはどのような質問があり、どう回答したのか伺います。	(1)今年度は、待機児ゼロの達成状況などに加え、コロナ禍における妊産婦へのサポートなどが評価項目に加わりました。
(2) 国は少子化対策の一つとして、不妊治療の保険適用の拡大方針を示しています。子育て支援のため、積極的に市独自の不妊治療助成策を検討すべきと思いますが、どうか？	(2)不妊治療に対する公的医療保険制度については、今後、国において具体的な内容が協議されます。市としては、今後も国・都の動向を注視してまいります。
*この答弁に対し、少子化対策のPR効果は大きいとして、「市長、これやりましょう」と検討を促しました。	
(3) コロナ禍における青梅市の取り組み・施策はどのように評価されたのか、伺います。	(3)「ひとり親家庭」の児童への経済支援等、コロナ禍で、出産・子育てに不安を抱く方々への支援が評価されたと捉えております。
(4) 厳しい財政とのバランスを取る中で、どのように更なる「子育てしやすい街」を実現していく計画なのか伺います。	(4)「子育て広場」の増設など、子育て支援策を重点的かつ多面的に進めることで、更なる子育てしやすい街の実現を図ります。
(5) 全国9位という評価を、子育て世代の人口増加や、未充足保育園の課題克服に生かしたいと考えますが、具体策を伺います。	(5) 子育てしやすさをPRし、様々な施策に取り組む事が、定員未充足保育所の解消など、課題の克服に繋がると考えております。

(私の質問)

(市長答弁)

「梅輪紋ウイルスと梅の里再生について」

(1) 梅の里再生計画の「再生・復興プログラム」の取組状況と、その検証・評価について伺います。	(1) 農地や梅の公園への再植栽などは、概ね実行できており、順調に事業の進捗が図られていると、認識しております。
(2) 「ウメ輪紋ウイルス対策」は実質的に市が継続します。したがって、その予算は、国・都に要求すべきと考えますがどうか？	(2) 財源は国の「消費・安全対策交付金」および東京都からの、補助金の活用も図れるよう協議しております。
(3) 庭木等を植栽する予定の方に、ウメ輪紋ウイルスへの自主防除を求めますが、その周知勧奨について伺います。	(3) 自主防除の方法につきましては、広報おうめ、回覧、防除のチラシ等で周知してまいります。
(4) 市内全域での梅等の再植栽が可能となりましたが、「梅の里の再生」はまだ道半ばであります。新たな市長の決意を伺います。	(4) 数々の名所に新たな魅力を加え、若木を大切に育み、更なる梅の里の再生・復興に力強く取り組んでまいります。